

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	24200	さわやか畜産総合展開事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		1		農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則	6	1	4	☒ 主な事業
施策の展開		1		農畜産物の生産振興	戦略事業	9				☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開					戦略事業					☒ 新市建設計画
										☐ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 16 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	家畜飼養規模の拡大や畜舎の周辺の住宅化に伴う悪臭、水質汚濁、害虫の発生など畜産環境問題の増加に対処するため、家畜ふん尿の処理設備の整備を促進し、生産される堆肥の資源としての利用を進めることで環境の保全を行い、地域と調和した畜産業の安定した成長を図る。 ・対象事業：農家集団、認定農業者が行う、悪臭防止や水質改善のための堆肥化施設、汚水浄化施設や装置の導入補助 ・補助率：県…1/5、市…1/10（1事業の上限1,000万円）
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
地域住民の環境への関心が高まり畜産環境に注目が集まり、環境に配慮した畜産経営を推進するために開始した。	処理施設を持たなかった畜産農家の新規の施設整備がほぼ完了し、今後は処理設備の高度化の要望が増えていくことが考えられる。また平成28年度から堆肥散布機を事業で導入することが可能となった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
畜産農家から「堆肥を適切に処理できるようになり、近隣住民から苦情を言われることが大幅に減った」との声がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 負担金補助及び交付金	0	さわやか畜産総合展開事業補助金(県・市合算分)	千円	5,763	7,500	9,000	0	0
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円					
1. 国庫支出金	0		千円	5,763	7,500	9,000	0	0
2. 都道府県支出金	0		千円	3,842	5,000	6,000		
3. 地方債	0		千円					
4. その他	0		千円	1,921	2,500	3,000	0	0

前年度増減理由	当該年度の事業要望がなかったため
---------	------------------

従事職員数 常時 人 最大 1 人 × 60 日 = 延べ 60 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

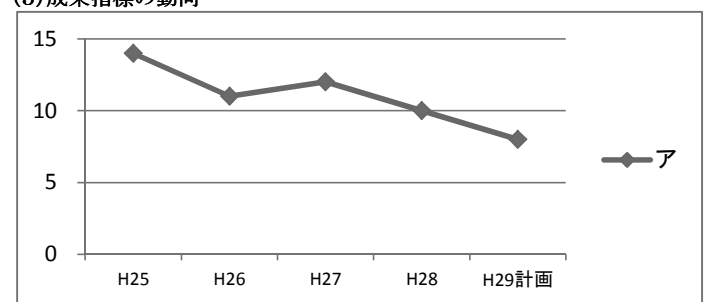
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・施設、機械の稼働状況調査		ア 補助金の交付件数	件	3	1	2	0	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 畜産経営で発生するふん尿 公害が発生しない状態となり、適切に処理される		ア 畜産農家が原因の苦情件数	件	14	11	12	10	8

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①			
	②			
③				
	④⑤	(4)		
⑥				
	⑦⑧			
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 当該年度の畜産農家からの事業要望がなかったため	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値減＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 比較 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 ア 2 Δ3 1 Δ2 Δ2 イ	時期 内容 平成29年度 肉用牛農家1戸で事業実施 今後の方向性